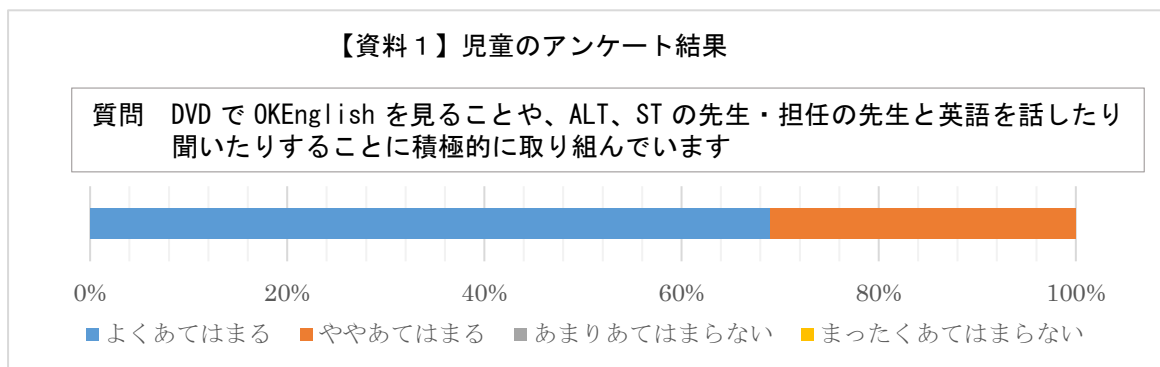


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度、児童にアンケートを行ったところ、「DVDでOKEnglishを見ることや、ALT、STの先生・担任の先生と英語を話したり聞いたりすることに積極的に取り組んでいます」という質問に対し、1年生から4年生までの結果は「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童が全体の100%でした。毎日の英語活動の時間には、低、中学年の教室から元気よく英語を発音する声が聞こえてきます。また、1週間同じ映像を見続けるため、単語や簡単な文の表現に慣れ、聞き取る力や正しく発音する力が伸びています。ALT、STと廊下ですれ違う際には、挨拶だけではなく英語で会話をしようとしている姿が多く見られることから、英語活動に楽しみながら前向きに取り組んでいる様子がうかがえます。

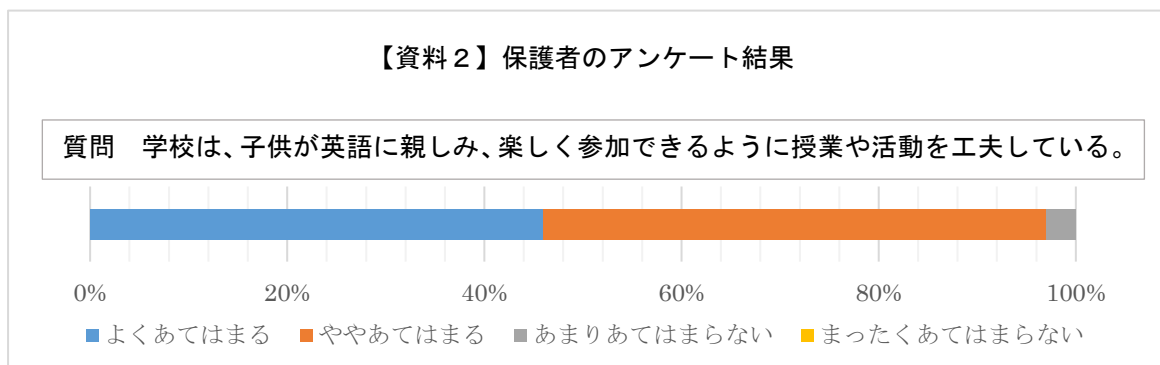
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は、子供が英語に親しみ、楽しく参加できるように授業や活動を工夫している。」という質問に対し、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が95%を超えていました。英語活動への取組についてたいへん高い評価を得ていることが分かりました。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

資料1、2から分かるように、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えた児童、保護者がどちらも95%を超えおり、今年度も昨年度同様、高い評価を得ているといえます。児童は英語活動の時間にたいへん積極的に英語と関わっているといえ、保護者には『OK English』の視聴を中心とした英語活動の取組が、一定の理解と評価をいただいていることがうかがえました。

今年度も、低・中学年では「聞くこと」「話すこと」を中心とした活動を通じて外国語に楽しみながら慣れ親しむことを大切にしていきます。そして、低・中学年はALTの先生との授業を、さらに低学年はSTの先生との授業も定期的に取り入れて、教科としての学習へスムーズに移行できるような指導を心がけていきます。